

現社でGO! NO2 基本的人権の確立 ★★★頻出

人権と法の支配

- ① **1 自然権** : 人が生まれながらにもつ権利
- ② 基本的人権 : 人間にとって必ず必要とされる基本的な権利…言論の自由、宗教の自由、身体の自由など
- ③ 「**2 法の支配**」



- ① 権力者による恣意的支配（人の支配）を排除し、権力者を法によって拘束することで国民の自由・権利を保障しようとする原理。
- ② 17世紀イギリスのエドワード・コークが「国王といえども神と法の下にたつ」という言葉を引用して当時の国王を諫めたエピソードは有名。アメリカではこの原理に基づいて**違憲立法審査権**が確立した。日本国憲法もこの原理に立脚している。国会議員が法律を作るときに憲法に違反してはいけないということ。平和主義の憲法に戦争を招くような法律を作ってはいけないのだが…。
- ④ 民主政治 : 人権保障を実現するために行われ、**4 民主**的な決定であっても、個人の人権の不当な**5 制限**は許されない。
- ⑤ **立憲主義** : 政治はあらかじめ定められた憲法の枠内で行われなければならない。法律という形式を重視し、法律の内容が民主的であるかどうかを問わない（→悪しき法律万能主義）。19世紀ドイツで発達。明治憲法はこの原理に立脚。
- ⑥ 憲法の**7 最高法規**性
 - ① ほかの法がつけられる際の原則を定める
 - ② **8 国家権力**の行使は憲法により制限される
- ⑦ **9 法治主義** : 法による秩序の維持を重視
 - 戦前のドイツでは法律によりさえすればいかなる権力も行使できるとされた

人権の歴史的展開

- ① 人権思想の確立 : 10 **市民革命**などの成果として、身分的な特権を否定し、だれもが等しく人権をもつという考え方が成立→**ヴァージニア権利賞典** 1776 と、ジェファークソンが起草した**アメリカ独立宣言** 1776、11 **フランス革命** (1789年) などにより定着
- ② 人権の歴史的展開
 - ① **自由権** は、財産権など経済的自由をはじめ、個人の自由を国家の干渉から守るための権利であり、「**12 国家からの自由**」という性格をもつ。
 - ② **参政権** は、選挙権・被選挙権（立候補する権利）など国民が政治に参加する権利であり、「**13 国家への自由**」という性格をもつ。歴史的には、19世紀前半のイギリスで起こった**13 チャーチスト運動**（労働者が普通選挙権を要求）が有名。ただし、普通選挙制が各国で普及するのは20世紀に入ってからである。
 - ③ **14 社会権** は、すべての人が人間らしい生活を営むことができるように国家に対して積極的な施策を要求する権利であり、「**15 国家による自由**」という性格をもつ。歴史的には、失業・貧困などが激化した19世紀以降、要請されるようになり、**16 ワイマール憲**

法ではじめて明文化。こうした動きを背景に、17 **福祉国家**（国民生活に積極的に介入する国家）が成立。

○日本国憲法における社会権 : 第25条…生存権

第26条…教育を受ける権利

第27条…勤労権 第28条…労働基本権

図表で確認 問1 人権についてまとめた下の年表の空欄にあてはまる適語を入れよう

	英 1 マグナカルタ	1832	英 第一次選挙法改正
1628	英 権利請願	1838	英 チャーチスト運動
1642	英 2 ピューリタン 革命	1863	米 奴隷解放宣言
1651	英 ホブズ「リバイアサン」	1889	日 大日本帝国憲法発布
1679	英 人身保護法	1919	独 6 ワイマール憲法 制定
1688	英 3 マグナカルタ	1945	国際連合
1689	英 権利章典	1946	日 日本国憲法公布
1690	英 ロック「統治二論」	1948	7 世界人権宣言 採択
1748	仏 モンテスキュー「法の精神」	1951	難民の地位に関する条約採択
1762	仏 ルソー「社会契約論」	1965	人種差別撤廃条約採択
1776	仏 ルソー「社会契約論」	1966	8 国際人権規約 採択
1776	米 バージニア権利章典 4 アメリカ独立宣言 (米)	1979	女子差別撤廃採択
1787	米 アメリカ合衆国憲法制定	1989	子ども（児童）権利条約採択
1789	仏 フランス革命	2006	障害者の権利条約
1789	仏 5 フランス人権宣言		

センター過去問演習

【2000-本試】

人権思想に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人権は、自然権思想を根拠とするものではあるが、国境を越えてまで保障されるわけではない。
- ② 人権は、現在の国民に対しては保障されるが、将来の国民に対しては保障されない。
- ③ 人権は、永久不可侵の権利であるため、それに対していかなる制約を課すことも許されない。
- ④ 人権は、人間であることに固有のものであるから、放棄したり任意に譲り渡したりすることは許されない。

正解→③

【2004年本試 05】次の文章中の ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。

「民主主義とは多数決である」としても、立憲主義国家ではすべてのことを多数決で決定できるわけではなく、とりわけ基本的人権を規制するような決定には慎重でなければならない。

例えば、多くの国民が望んでいることを理由に、刑期を終えた人を引き続き拘留し、同一事件について再起訴することを認める法律を国会で制定したとする。これは同じ犯罪について重ねて刑事上の責任を問わないとする一事不再理の原則や刑期を終えた人の **A** という人権が侵害されることになる。

これを防ぐためにも、多数決原理に基づいて制定される法律の内容もまた基本的人権にかなうものでなければならないという意味を含む **B** という考え方が大切になってくると言える。

- | | | |
|---|---------|---------|
| ① | A 生存権 | B 法律の留保 |
| ② | A 生存権 | B 法の支配 |
| ③ | A 免責特権 | B 法律の留保 |
| ④ | A 免責特権 | B 法の支配 |
| ⑤ | A 身体的自由 | B 法律の留保 |
| ⑥ | A 身体的自由 | B 法の支配 |

解答：⑥

【2012一本試】

人権に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人は生まれながらにして侵すことのできない権利として自然権を有するという考え方が初めて示されたのは、マグナ・カルタにおいてである。
- ② 国際連合(国連)成立後、人権を初めて体系的に規定した国際文書である世界人権宣言が採択されている。
- ③ 日本国憲法は、人権を実効的に保障するために、憲法裁判所の設置を規定している。
- ④ 人間に値する生活を営む権利を保障する規定を憲法に取り入れるようになった国が登場したのは、19世紀である。

正解→①

【2017-本試験】

統治の原則に関する記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国王や君主などの権力者は法に従う必要はないとする専断的な政治のあり方は、人の支配と呼ばれる。
- ② 選挙における直接選挙の原則とは、有権者がもつ一票の価値は同じであるべきとする考え方のことである。
- ③ 国家権力を分け、その担い手を分離独立させ、相互に抑制・均衡させることで、権力の濫用を阻止する考え方は、権力分立の原則と呼ばれる。
- ④ 国家からの自由とは、国家権力による不当な干渉や侵害を人々が受けないことを保障しようとするものである。